

“学び愛” (縦割り学習) で主体的な学習と家庭学習の習慣化

～ 京都府 舞鶴市立和田中学校 ～

学クラ新聞

第25号



- ◆ 主な活用シーン
- ・ 授業(学び合い)
- ・ 家庭学習 ・ 自主課題



実際の授業の様子を動画でご覧いただけます

舞鶴市立和田中学校では、生徒の主体的な学習を引き出すツールとして、みんなの学習クラブタブレット(個人ID版)を導入しています。主には、家庭学習・自主勉強強化週間(JKWeek)・長期休暇の「自学習」の課題として、活用しています。今回は、学年の枠を超えた縦割りのグループで、3年生が1・2年生に教えながら学習している様子や家庭学習の取り組みについてご紹介します。



▲3年生が1・2年生に教えている様子

◆ 学年の枠を超えた縦割りでの“学び愛”

体育祭や文化祭の際、縦割りチームで生徒が意欲的に取り組む様子を見て「このつながりを学習でも利用できないか」と考え、「学活」の時間で縦割り学習をはじめました。行事で同じチームになるA・Bに分かれた上で、4人組の小グループに分かれます。各グループには3年生が必ず1人ずつ配置されます。以前は、学習リーダーがグループを作ることもありましたが、今回は先生が事前にグループを作りました。

◆ 3年生が1・2年生に学習を教える

数年前より、学び合いの取り組みをしてみました。縦割り学習でも、学び合いができるよう、3年生が1・2年生を教えるというコンセプトで始まりました。生徒は、みんなの学習クラブの個人IDにログインして学習したいプリントを選び、ノートに転記して学習します。1・2年生は、わからないところがあると、3年生に聞きながら学習をすすめています。

◆ 生徒会発案の自主勉強強化週間

生徒会本部役員で学年の反省や課題を出す中で、生徒から家庭学習の提出状況がよくないという声が出てきました。その課題への取り組みとして、自主勉強(J)強化(K)週間(Week)をつくりました。縦割りのA・B対抗で、1人ひとりが自主勉強したノートのページ数の合計で競います。ノート1ページを1ポイントとして、テスト前の11日間で実施しました。この結果は、2学期の体育祭の得点にも加算されます。

◆ 学習したノートのページ数を集計

学習したノートのページ数は、各クラスで班長が集計し、学年代表がとりまとめ、生徒会に毎日報告します。集計は、その日の夕方に学校の入り口近くに掲示されます。残り3日でBチームが100ページほどリードしていました。両チームが諦めずに取り組み、最後はAチームが追い抜くという結果となりました。全校生徒約90人で、ノート2300ページ以上というたくさんの学習に取り組みました。



▲残り3日の得点



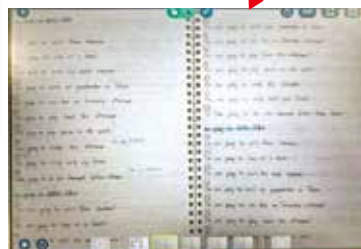
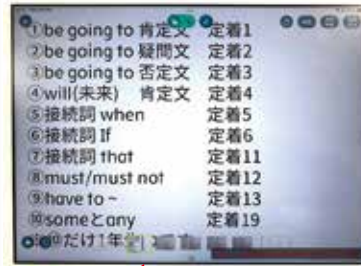
▲最終結果

家庭学習の習慣化に／主体性を引き出す課題

自分で選ぶ家庭学習

英語の家庭学習として、教科書の各プログラムごとに10枚のプリントをみんなの学習クラブから自分で選び、学習する課題を出しています。単元テストの日までに、生徒は学習したものをロイロノートの提出箱に提出します。ノートに書いたものは写真に撮ったり、画面上に書き込んだものはスクリーンショットを撮って提出します。先生は枚数などを確認します。

▼先生が見やすいようにと、学習したプリント名を1枚目を書く生徒もいます。



▲タブレット上に書いて学習したプリントのスクリーンショットで提出

▲ノートの写真を撮って提出

長期休暇の「自学メニュー」の課題に

英語の長期休暇の課題として、「自学メニュー」を出しています。生徒は、「自学メニュー」を選んで、ノート1冊分の学習をします。「自学メニュー」は、A基礎、B練習、C発展、D応用に分けて作っています。そのB練習に「みんなの学習クラブ」の問題を自分で選んで取り組む。(これまでの復習、予習などなどのプリントでもOKです。)

3年生 1学期(夏休みの宿題) 自学メニュー

夏休みの宿題は、ノート1冊で、字が丁寧に書けていたり、スペースが広くて思い思いに書いたり、やり直しにこだわります。

A	1 英単語しりとりをする。(20単語はつなげてみよう！)
B	2 一般動詞(動作を表す単語)の辞書で「 国 」と書いてある」をできるだけたくさん集める。
	3 「どのよう」に「どこ」「いつ」を表す表現を何度も練習して覚える。(必ずテストをすること。)
	4 形容詞(状態を表す単語)の辞書で「 国 」と書いてある」を何度も練習して覚える。比較級・最上級も確認しよう！
C	5 みんなの学習クラブの問題に取り組み。(これまでの復習、予習などのプリントでもOKです。)
	6 みんなの学習クラブの入試問題に取り組み。(これまでの復習、予習などのプリントでもOKです。)
D	7 自分にとって大切にしているものを、読み手を意識して書いてみる。
	8 睡眠の大切さについて、SNSに載せるつもりで書いてみる。
	9 スポーツの魅力について、読み手がそれ素敵！と思うように書いてみる。
E	10 自分の気持ちを動かすものについて、読み手を意識して書いてみる。
	11 English centralの動詞テキストを参考にして英文を書いてみたり、訳したりしてみたり。
	12 English centralの英語を聞いて、ディクテーションをしてみる。(後でチェックすること。)
	13 English centralの単語学習を30分に設定し、テストにチャレンジする。(30問テストを行って1ページ分とする。)
	14 上記以外の学習、自分で考えたもの、タイトルを必ず書く。

Practice makes perfect
Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.
- Mahatma Gandhi (ガンジー) -

明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。

▲3年生(夏休みの宿題)自学メニュー(抜粋)

先生の声・生徒の変化

◆書かないと学習は定着しない

書かせないと学力はつかないので、ノートに書いて学習することを大切にしています。みんなの学習クラブを活用するのも、書くことができる教材だからです。子どもたち同士の学び合いのシーンでも、紙で学習する方が意見が出やすいのでは？という場面もあり、紙の重要性を感じています。



◆学習量が増えて点数にもつながった

JKWeekは、生徒が非常によく勉強した1週間になりました。3年生のテスト返却後の振り返りに、「学習クラブで勉強したことが英語の正確性を上げることにつながっている」と書いた生徒が数名いました。

これまでは、先生の作成した練習問題を少し学習するだけでテストを受けていたのが、たくさんさんの問題を解くことで、文の構造がわかり、点数にもつながったようです。

みんなの学習クラブを活用することは、生徒にとっても先生にとってもWin-Winなんだと改めて感じています。

◆縦割り学習で3年生の自己肯定感が高まった

縦割り学習は、3年生が1・2年生に教えるという取り組みから始めました。3年生には1・2年の問題と解答を渡すのみで、3年生の学習はなかったため、自分の学習ができないなど、ネガティブな意見も出ました。しかし始めてみると、3年生は1・2年生に教えることで「ありがとう」と言ってもらえたり、「役に立っている」という実感から、自己肯定感が高まっているようでした。また、学習が苦手な生徒も1・2年生に教えるために学び始め、学習意欲が高まっている生徒もいました。

